

第 50 回 美都地域協議会 議事録

開催日時	平成 26 年 2 月 4 日 (火) ・ 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分			
開催場所	美都総合支所 第 1 会議室			
委員出席状況	委員総数	10 名	出席委員数	8 名
会議録署名委員	山根 和夫委員、土佐 則幸委員			

【協議事項】

- ①新市建設計画等の検証について (資料 1)
- ②益田市顧問候補者の推薦について

【報告事項】

- ①都茂地区連合自治会輸送活動事業 (資料 2)
- ②美都診療所指定管理について (資料 3)
- ③給食センターについて (資料 4)
- ④消費税改定に伴う町内施設の使用料について (資料 5)
- ⑤美都運動場夜間照明の廃止について
- ⑥双川峡落石対策事業計画について (資料 6)
- ⑦地域自治組織について (資料 7)
- ⑧萩・石見空港について (資料 8)
- ⑨地産地消ビジネス拡大事業について
- ⑩道の駅サンエイトについて
- ⑪その他

	氏 名		出欠	氏 名		出欠
	協議会組織構成員	会 長	大 石 康 人		委 員	広 兼 重 継
委 員		青 木 正 美	欠	委 員	田 中 宜	欠
委 員		潮 榮		委 員	木 原 元 和	
委 員		梅 津 富美子		委 員	土 佐 則 幸	
委 員		小 川 美知子		委 員	山 根 和 夫	
地区振興センター	東仙道	野 村 達 也	欠	都 茂	河 野 敏 弘	
	二 川	小 原 美智子	欠			
事務局	支所長	長 岡 邦 政		住民福祉課 課 長	大 谷 昭 次	
	地域づくり推進 課 長	高 橋 和 則		建 設 課 課 長	河 野 正 憲	
	住民福祉課 課長補佐	伊 藤 功 二		住民福祉課 主 幹	吉 野 聡 子	

第 50 回 美都地域協議会 会議次第

日時：平成 26 年 2 月 4 日（火）
午後 1 時 30 分～
場所：美都総合支所 第一会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 【協議事項】

①新市建設計画等の検証について (資料 1)

(合併調整項目を含む)

②益田市顧問候補者の推薦について

(2) 【報告事項】

①都茂地区連合自治会輸送活動事業 (資料 2)

②美都診療所指定管理について (資料 3)

③給食センターについて (資料 4)

④消費税改定に伴う町内施設の使用料について (資料 5)

⑤美都運動場夜間照明の廃止について

⑥双川峡落石対策事業計画について (資料 6)

⑦地域自治組織について (資料 7)

⑧萩・石見空港について (資料 8)

⑨地産地消ビジネス拡大事業について

⑩道の駅サンエイトについて

⑪その他

4 閉 会

次回開催 平成 年 月 日 () 時 分 於： _____

次 第	内 容
1. 開 会	(事務局) (開会に併せあいさつ)
2. 会長あいさつ	<p>(会長) 本日はご出席いただきありがとうございます。本日は26年に入り最初の会議になる。合併して10年になる年を迎えたが、皆さんのお力添えをいただきながら、引き続き地域協議会の任務を続けていきたいと思う。よろしくお願ひします。</p> <p>前回10月30日開催後の動きについて報告。</p> <p>12月に定例議会が開催され、特に、議会構成の中で合併10周年の調査特別委員会、有害鳥獣対策の特別委員会が設置をされた。1月は、成人式、消防出初式、東京の2便化決定(3月30日から)、萩・石見空港決起大会等があった。</p> <p>新年度の予算編成について、1月23日から市長査定があった。予算編成方針についてはホームページでも公開されているが、26年度の計画は人口拡大事業策定を主に編成され3月に公表される。26年度の大きな事業としては、庁舎の耐震化事業、日赤の建設支援事業(28年4月目標)、周辺道路の建設、学校の耐震化事業、学校給食センターの建設事業と巨額な費用を要する事業が計画されている。要求段階は67億9100万という計画を遥かに上回る要求が出ている。減債基金ということで起債を減らす基金の残高は、25年度末で3億5000万、財政調整基金は10億くらいで、他町村と比べて非常に少ない額できびしい状況になっている。詳しい予算については2月20日頃公表される。</p> <p>本日は新市建設計画の検証を中心に協議をお願いします。</p> <p>欠席者 青木委員 田中委員</p> <p>議事録署名 山根委員 土佐委員</p>
3. 議 事	<p>(会長) 新市建設計画の検証について前回も前々回も話し合ってきたが、今後の進め方として、まず検証をして、総括、検証集約、その後市長に意見書の提出という運びで進めたいと思いますがよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《委員了承》</p> <p>(事務局) 前回に引き続き新市建設計画について、資料1を基に説明。 最初に未実施事業について資料を基に説明。</p> <p>(会長) 新市建設計画の未実施事業について、質問、意見等ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">《質問、意見無》</p> <p>ないようでしたら今後の対応ということで総括してもよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《全委員了承》</p> <p>(事務局) 次に新市建設計画の対応方針について説明。続いて新規事業について、新市建設計画を検証するなかで、まだ実施されていないもの、今後の5年間でぜひ取り組んで欲しいもの等5項目を説明。</p>
(1)【協議事項】 ①新市建設計画等の検証について	

(会長) 新市建設計画の具体的事業の説明と、26年度から31年度までの新規事業についての説明がありました。意見等はありませんか。

(委員) 新規事業の中の4番、矢原川ダム建設に伴った環境整備事業で、対策協議会から要求書が出されたとなっているが、自分たちは聞かされていない。対策協議会と市だけの話で55億予算が当たっているのはどういうことなのか。要求書を見ていないとここで協議のしようがない。実際のところ水に浸かるのか。

(事務局) 県からは20年1月に下に出しますと表明されていて、これに基づいた要求書であるが、要望内容は浸かる時の内容のままになっている。この事業の要求項目というのは、単純にお金に置き換えている金額なので、交渉次第で、この中から益田市がいくら出すかは決まっていく。方向性としたら、元々遅れていた整備を地域で支援していくと理解してもらえたらいい。

(委員) このダムができたとしても美都町には何のメリットもない。市があまり負担するのはもったいない気がする。

(会長) それをどこまで下げるかがこれからの交渉になっていく。が、建設計画の中の項目にはあげておかないと、そのままにされる可能性があるので、意見要望としては項目を載せていきたい。

(委員) 「道の駅サンエイト美都」の早期再開を目指す。新たな経営者の下で事業再開。とあるが目途はついているのか。

(事務局) 最初は商工会、観光協会を通じて商売をしている方で募集をかけた。欠点として水道、光熱費、特に電気代が月20万もかかり経営を圧迫しているということで、天井を下げる、間仕切りをする等管理コストを下げるのを条件に出したが、ダメだった。現在はもう少し輪を広げ、エイトのホームページを通じて募集している。もうひとつは、ある一定の業者に目ぼしをつけ、管理コストを下げるというのを条件に再開をお願いしているところ。長引いた場合を考え、地域の声として項目にあげていきたい。

(委員) 道の駅の場所が自然に入れる場所ではなく、つつい通り過ぎてしまいがちな所にあるのが残念。これではどなたがしたとしても難しいのでは。

(事務局) 梅津さんのような意見は非常に多く聞くが、駐車場を埋めて国道から道路を付けて入れるようにするのは、交差点が近いということで警察の許可が下りない。右折レーンを作って自然に入れるようにするには、お金が掛りすぎてこれは諦めるしかない。その代わり、サインを徹底し、わかりやすくすることを言われている。

(委員) 関連の話ですが、サンエイトを間仕切りし小さくすると、あつたか市に置く商品とのバランスを考えないといけなくなる。あつたか市は、大きくしてから野菜から肉からいろいろな物を置いているので、サンエイトには何を置くべきかを考えないと、似たような物を置くと特徴も何も無くなるので、そのあたりをどのように考えているのか。

(事務局) 今は、あつたか市は温泉を利用される方が対象になっている。サンエイトは通行者を対象にと考えているが、5年に1度車の通行量を調査していて17年から22年を見ると3割くらい減っている。この先減っていく中で、通行者だけを対象にどのようにしていけばいいのか悩むとこだ。

(委員) あつたか市は市が建てて、光熱費はエイトが払い、サンエイトはエイトの建物であって、やっってもらう人を探しているというのはおかしな話である。

(事務局) この際、商売を抜きにして食堂を止めて、特産品だけは販売していくという方向である事業所をお願いしているところ。

(委員) いずれにしても、あつたか市との関連も考えながら進めていかないとやっていけない。以前、市の駐車場から橋を掛けて、サンエイトに直に行けるようにしたらどうか。それか、埋めてしまい車を通れるようにしてもいいかなというような話をしたことがある。駐車場にしているあの土地は一緒に考えた方がいい。

(事務局) 橋は莫大な事業費がかかるので、今のところは少しの費用での再開を目指している。

(委員) 天井を直すというと、薪ストーブにするのか。

(事務局) 薪ストーブの導入と、ミストでの冷房を考えている。薪ストーブのある道の駅として話題を呼び、ミストの冷房でコストも下げたいと考えて検討している。

(会長) 今回の新規事業については、内容、予算的なことがあるので、この通りが載るとは限らないが、将来的に見て必要だと思う事業を載せている。次回では、大まかな意見書をまとめて皆さんにお見せして、意見をいただきたいと思う。特にこれはという項目があれば、今月中に事務局にでも連絡いただければと思いますが、いかがでしょう。

《全委員了承》

(会長) それではそのようにさせていただき、合併調整項目をお願いします。

【合併調整項目】

(事務局) 別紙資料を基に、残っている合併調整項目について説明。

(会長) 先ほどの新市計画と合わせて、残っている合併調整項目についても地域協議会として意見を出さないといけないが、自治会交付金については早期に調整してほしい。飲料水助成金についてもいい方向に調整中ということなので、意見として出さなくてもいいと思う。

(委員) 飲料水の助成金の説明で上限200万の半分という意味が分からなかったのので、分かりやすく説明していただきたい。

(事務局) 補助対象事業費が 100 万ということ。美都町の場合は今まで 100 万の補助率が 2 分の 1 ということだったので、50 万アップするということになる。

(会長) 今、問題になっているのは、災害時の補助率をどうするかということ。それだけです。

(委員) 美都町で助成金の申請はあるのか。

(事務局) 毎年ではないがあります。

(事務局) たとえば、雨でポンプがだめになったので替えてほしい。施設の老朽がひどいので直してほしいというような、管理水道エリア外の個人の方でも使える。

(会長) これは未普及地区の方の為に残しておいた方がいいと思う。先ほど説明がありましたように、この中で一番難しいのは、高齢者と障害者のやすらぎ対策をどうするかということ。

(事務局) 範囲を広げて予算をそのまま言うのは今の制度ではできない。グループ利用にするなど制約をかけるか、個人なら値上げをするとか。美都地域だけこれを残してほしいというのは難しいと思う。

(委員) やすらぎ対策は匹見もやっているのか。美都だけなのか。

(会長) 匹見はやってない代わりに、町民は半額になっている。

(委員) それが無くなり一気に倍の 600 円になるのは大変だ。

(会長) このことについては問題が大きいので次回のとこまでで考えていただきたいと思います。新市建設計画の項目別、新規事業、合併調整項目について、意見の案を作らせていただいて、協議を準備したいということで総括にしたいと思います。特に、この項目がいるのではないかとというようなことがあれば、今月中に事務局か私に連絡いただきたいと思います。新市建設等の検証についての項目を終わりますがいいですか。

《全委員了承》

— 休憩 —

(会長) それでは報告事項に入ります。

(2)【報告事項】

①都茂地区連合自治会輸送活動事業

(事務局) 都茂地区連合自治会輸送事業について、資料 2 を基に説明。車は 1 月 20 日に入札、2 月 20 日に納車予定となっている。運転手も都茂地区自治会から応募があり、現在は 33 人の方がエントリーされている。この方々には講習を受けていただき 3 月から活動していただくことになる。

<p>②美都診療所指定管理について</p>	<p>(事務局) 美都診療所指定管理について、資料 3 を基に説明。 美都診療所は益田市医師会の指定管理で、次期 4 月 1 日以降も同様 7 年間で益田市医師会に継続することに決まった。3 月議会に上程した後正式に継続決定ということになる。</p> <p>(会長) 質問がありますか。</p> <p>(委員) 自治会輸送事業は自治会以外の誰でも利用できるのか。</p> <p>(事務局) 都茂地区自治会内の方が都茂地区内を移動するのに限り利用できる。</p> <p>(委員) 二川地区の者が都茂の境まで乗って行き乗り換えるということができるのか。</p> <p>(事務局) この事業ではそれができないので、美都地区全体を移動できる使いやすい事業にすることが課題となっている。</p> <p>(委員) 都茂に診療所があるので直に行きたいと言われる方がいる。二川ができて、都茂ができて、町内ができないというのは腑に落ちないことなのでどうにかならないのか。美都町連合自治会として進め早急に検討すべきである。</p> <p>(会長) ただ今提案がありましたのでそれについてはまた次回ということにさせていただきます。</p>
<p>③給食センターについて</p>	<p>(事務局) 給食センターについて、資料 4 を基に説明。 美都の調理場を残すことについては、賛否両論あるがこの地域の事業を配慮して理解をいただきたいと思う。</p> <p>(委員) 工事中の給食は供給できるのか。</p> <p>(事務局) 28 年 4 月からは高津が共用場所になり、そこで作ったものを美都に運ぶという形になる。</p> <p>(会長) 次に消費税改正に伴う町内施設の使用料についてお願いします。</p>
<p>④消費税改正に伴う町内施設の使用料について</p>	<p>(事務局) 消費税改正に伴う町内施設の使用料について、資料 5 を基に説明。 H26 年 4 月以降からの料金で、27 年 10 月から 10% になり料金改定があれば、また料金の見直しをするということになる。</p> <p>(委員) テニスコート一面の金額が変わっていないのは、ミスプリントなのか。</p> <p>(事務局) ミスプリントです。正確には 670 円です。</p> <p>(委員) ここに載っているもの以外はないのか。</p>

<p>⑤美都運動場夜間照明の廃止について</p>	<p>(事務局) 一応、美都町の施設は全部上げたつもりですが何かありますか。</p> <p>(委員) 個人的にはない。</p> <p>(事務局) 細かいことを水道で言えば、口径別の負担金とか、あげないといけないものは他にもある。</p> <p>(委員) 温泉利用者、特に町外、市外の人には消費税がいくらかと明記しておかないと、便乗値上げをしていると思われるのではないかと。</p> <p>(事務局) わかりました。明記するようにします。</p> <p>(事務局) 美都運動場夜間照明の廃止について説明。 昭和 55 年 6 月に建設してから野球連盟等数々の団体の利用があったが、ここ数年の定期的利用は 2 団体のみとなった。照明費など考えて 26 年度から夜間使用を禁止とし、昼間のみの使用とする。</p> <p>(会長) 質問等がありますか。</p> <p style="text-align: center;">《質問、意見無》</p>
<p>⑥双川峡落石対策事業計画について</p>	<p>(事務局) 双川峡落石対策事業計画について、資料 6 を基に説明。 当初は 22 年から 26 年までの事業計画だったが、観音堂の落石事故があり、二次災害の可能性が高いということから工事を中止していた。この度 26 年から 30 年に工事を変更し、区域を広げて再開する。期間中今までと同様、立ち入り禁止でご迷惑をおかけしますが、30 年度までには終わらせたいと思うので、皆さんの協力をお願いします。</p> <p>(会長) 質問等がありますか。</p> <p style="text-align: center;">《質問、意見無》</p>
<p>⑦地域自治組織について</p>	<p>(事務局) 地域自治組織について、資料 7 を基に説明。 平成 30 年度を目標に地域自治組織を作ることになっている。美都地域は都茂地区がモデル地区となっている。今後各地区で説明会を開催する。</p>
<p>⑧萩・石見空港について</p>	<p>(事務局) 萩・石見空港について、資料 8 を基に説明。 東京 2 便化が決定し決起大会が開催された。平成 26 年度上期運航計画について報告。利用促進について取り組むのでご協力をお願いします。</p>
<p>⑨地産池消ビジネス拡大事業について</p>	<p>(事務局) 地産池消ビジネス拡大事業について説明。 あったか市裏に倉庫と冷蔵設備を建設中。2 月 7 日頃に完成予定であり、3 月頃から始めていきたいと思っている。</p>

<p>⑩道の駅サンエイトについて</p>	<p>(事務局) 道の駅サンエイトについて説明。 「道の駅」の登録をしているので、市として再開に向けて努力している。年度末がやまだと思っている。</p>
<p>⑪その他</p>	<p>(事務局) チラシをもとに特産品等を紹介。 ・「世界にも通用する究極のお土産」金谷のゆべし。3個入り2,500円で販売。 ・青玉柚子の酢、黄玉酢で作成したソーダ水、青玉柚子酢のグミ試作品の紹介。 ・人口拡大等について掲げているが、積極的に取り組んでいく。柚子ボランティア等、情報を発信し人を受け入れていきたいと考えている。コーディネーターを中心に組織作りをしていきたいと思う。</p> <p>(会長) 何か質問がありますか。</p> <p>(委員) 例えば、試作品を募集する等の動きがあれば、生産者だけではなくて、知恵もでるのではないかと思う。</p> <p>(事務局) 以前柚子を使った料理等色々な方に参加をしていただき盛り上げたという経過もある。今年は情報を皆さんに提供しながら、皆さんから知恵をだしていただき、地域の宝を使いながら盛り上げていきたいと考えている。 ご協力をお願いします。</p> <p>(委員) 東京便の利用状況について、15,000人位出て行く方が少ない。石見空港にきて滞在せずに、出雲空港、宇部空港に流れているということなのか。</p> <p>(事務局) 滞在していないという事だと思う。何とか泊ってもらうしかけが必要。団体客が40人～80人きても市内に昼食を食べる所がないので自然とよそへ流れてしまう。</p> <p>(委員) ソーダ水の入れ物は瓶か。</p> <p>(事務局) 瓶です。</p> <p>(委員) ゆずっこを送る際に全て梱包しなおさなくてはならない。ヤマト運輸では受け付けてもらえない。瓶をやめてほしいというも思う。</p> <p>(事務局) ペットボトルにしようとするが、なかなかうまくいかない。機械も必要だが、入れるスペースも無い状況。瓶は都会の方では不評でもある。</p> <p>(事務局) 以前、ペットボトルに詰める機械がどれくらいするのか調べたが、14,000円くらいだった。コストもかかり、スペースも無く入れられいのが現状だと思う。</p>
<p>【協議事項】 ②益田市顧問候補者の推薦について</p>	<p>— 顧問退席 —</p> <p>(事務局) 平成26年3月31日、任期満了する顧問の候補者推薦について提案。顧問の設置条例に基づいて推薦が来ているので、地域協議会で議論をいただきたい。</p>

本日、副会長が欠席のため、山根さんに意見の取りまとめをお願いしたいと思うが宜しいでしょうか。

《委員了承》

(委員) 忌憚のないご意見をお願いします。

(委員) 継続でお願いしたい。

(委員) 地域協議会と顧問制度は、市の方針がでているか。

(事務局) 条例上は 10 年なので、あり方について、市の方向性を示していただき、地域協議会で答申をするのがいいのではないかと思います。新市建設計画の意見書に併せて、顧問制度、地域協議会のあり方について市の方向性を提示していただき、それに対して議論して答申するという方向に進めばよいと考えている。

(委員) 地域協議会のまとめ役が顧問というやり方で進んできた。それはいかがなものかという意見も以前あった。本来は地域の代表でなければならないと思う。顧問としては大石さんで良いと思う。

(委員) 顧問はいい。会長は別。

(委員) 顧問制度廃止の意見があるか。

(事務局) 特にはない。

(委員) 協議会のまとめ役は、協議会の互選の方が良いと思う。顧問と会の代表をうまくできればよい。

(委員) 顧問については大石康人さんということでよろしいでしょうか。

《全委員了承》

— 顧問同席 —

(事務局) 顧問については大石康人さんを推薦するというご確認いただいたので報告します。

(会長) 御推薦をいただきありがとうございました。条例上では残された 1 年ですが、皆様のお力添えをいただきながら務めて参りたいと思いますのでよろしく申し上げます。

匹見の顧問と調整をしており、地域協議会として顧問制度、地域協議会をこうしてほしいという意見は出しにくい部分もあるので、市として諮問をするという形をとらせて頂くかもしれない。その際にはよろしく申し上げます。

4、閉会

(会長) 以上で本日に会議を終わります。慎重審議していただきありがとうございました。

—午後 4 時 30 分終了—

第 50 回地域協議会の顛末を記載しその相違ないことを証するためここに署名する。

平成 26 年 2 月 4 日

議事録署名者

同